

平成27年度 市民協働型まちづくり事業



はじめての一步事業・・・2件 市民提案事業・・・7件

行政提案事業・・・1件 計10件（提案件数：10件）

《はじめての一步事業》

- ①【事業名】ブックシェアリングごてんば
【団体名】ブックシェアリングごてんば
【行政担当課】御殿場市立図書館 【補助金額】50,000円



【事業概要】絵本の回収～メンテナンス～本箱の作成～配布といった一連の活動を通し、リサイクル絵本を活用した絵本コーナーを充実させました。絵本の回収冊数は380冊にのぼり、市内11か所に配布しました。また、新たな回収先の希望もあるなど事業を通して賛同の声が多く、その必要性と発展性の可能性を感じました。

【行政の役割】回収の際の問題点の相談・点検、絵本箱の設置、改修本の一時保管、広報

- ②【事業名】道しるべの会～気になる子・個性的な子の育児を話す～
【団体名】道しるべの会
【行政担当課】子ども家庭センター 【補助金額】50,000円



【事業概要】発達障害の子どもを持つ親たちのためのお茶会を開催し、和やかなムードで情報交換や意見交換をしたのち、行政による講演や情報提供をしました。会の開催には多くの参加者があり、情報や子どもへの対応を模索している保護者が多いことがわかりました。毎回、笑顔で帰っていく参加者の姿に開催の意義を感じる一方、今後の取り組みへの重要性を再認識しました。

【行政の役割】広報・PR活動、当日補助、情報提供

≪市民提案事業≫

- ①【事業名〔年数〕】地域ねこ活動事業〔3年目〕
【団体名】地域ねこ活動の会
【行政担当課】環境課 【補助金額】300,000円



【事業概要】動物愛護精神に則ったTNR（捕獲し、不妊去勢手術し、戻す）という活動を通して、地域に生息する野良ねこを「地域ねこ」として管理します。昨年度は実施地区を拡大し、3年間で最も多い35頭に施術しました。地域で起きている野良ねこ問題に地域住民と団体・行政が協働して取り組むという先進的な取り組みとして注目を集めました。

生き物を相手にするこの取り組みはまだまだ始まったばかりで、今後も地域の協力を得ながら続けていきます。

【行政の役割】広報、自治会や獣医師との連絡調整、
野良ねこ捕獲・トイレ設置、住民への聞き込み・説明（両者）

- ②【事業名〔年数〕】第3回富士山アートフェスティバル〔3年目〕
【団体名】NPO ありがとう ふじさん
【行政担当課】企画課 【補助金額】250,000円

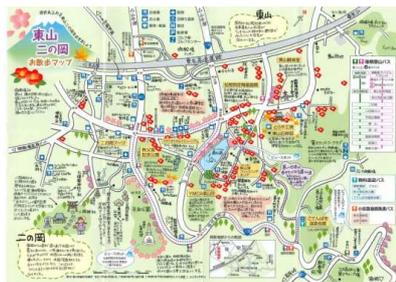


【事業概要】12月20日（日）に市民会館にて「第3回富士山アートフェスティバル」を開催しました。今年は「富士山」のほか、「家族」をテーマに掲げました。太鼓で幕を開けたステージは、歌、演劇、ダンス等を取り入れたパワフルかつ誰にとっても親しみやすく仕上げ、来場者の心をつかみました。また、「ジュニア・アート展」

も同時開催し、幅広い世代が参加し、芸術に対する意識や郷土愛を育みました。3年間の活動を通して、今後の活動への基礎作りができました。

【行政の役割】助言、各方面との連絡調整

- ③【事業名〔年数〕】
「魅力ある東山路」づくりから始まる観光ハブ都市御殿場市〔2年目〕
【団体名】東山路観光協議会
【行政担当課】商工観光課 【補助金額】300,000円



【事業概要】初年度にマスコミに大きく取り上げられ、大好評を得た東山・二の岡地区の案内マップを改定・増刷したほか、3年目を見据えた活動の充実を図りました。マップの存在は今や広く知られるようになり、地域の魅力を十分に発信しています。

【行政の役割】広報・PR活動、事業全体についての助言・指導

④【事業名〔年数〕】 貴重な植物の群生地や絶滅危惧植物を守ろう〔2年目〕

【団体名】 富士山みどりの会

【行政担当課】 環境課 【補助金額】 300,000円



【事業概要】 富士山古来の貴重な植物にスポットを当て、初年度同様に植栽活動を行いました。また、50名を超える参加者が聴講した講演会では、御殿場に富士山がもたらす恩恵や問題について多数の図表を用い紹介しました。行政と協働し互いのノウハウや資源を生かした手法で、大勢の市民と共に末永い保全・保護活動を行っていきます。

【行政の役割】 植物群生地の地主、各種行政機関との調整、資料の提供、事業の推進に課関わる協議及び支援、講演会の周知、助言

⑤【事業名〔年数〕】

御殿場口の外来植物および侵入植物を駆除するためのハンドブック作成〔新〕

【団体名】 NPO 法人 富士山の森を守るホシガラスの会

【行政担当課】 環境課 【補助金額】 300,000円



【事業概要】 専門家による現地調査を年間を通じて行い、除去作業に参加する方々、市民に現地の現状について知ってもらうため、富士山の植物を紹介するハンドブックを作成しました。環境は、壊すことは簡単でも取り戻すためにはかなりの歳月を要します。ハンドブックを手に取り、まずは今の富士山を知るところから始めましょう。

【行政の役割】 調査に連携・原稿監修

⑥【事業名〔年数〕】 食育とキッズクッキング〔新〕

【団体名】 キラキラキッズクッキング

【行政担当課】 子ども家庭センター 【補助金額】 54,000円

【事業概要】 「はじめの一歩部門」からステップアップし、子供たちを対象にした5回の食育・クッキング講座を開催しました。簡単な実験やクイズを通し、勉強になりがちな食育を楽しみながら体験したり、基本的な調理や技術で料理をすることや食べる楽しさを感じることで、食生活が健康や幸福につながることを学んでもらいました。



【行政の役割】 講座募集、受付対応、アレルギー確認、食材の買い出し

⑦【事業名〔年数〕】

我が子流子育てをつくろう！～家族のコミュニケーション力向上事業～〔新〕

【団体名】Motherese(マザリーズ)

【行政担当課】子ども家庭センター

【補助金額】300,000円



【事業概要】親子のふれあいの場として、映画の上映会、親子での自然とのふれあい、母親、父親対象のリフレッシュ講座やサロンなど、様々なメニューを開催しました。参加者からも非常に好評で、手法の取得だけでなく家庭内のコミュニケーション力が向上するなど、改めて「すべては家庭から」という考えの大切さを教えてくれる事業です。

【行政の役割】告知・施設借用・人員協力、運営アドバイス

《行政提案事業》

①【事業名】鳥獣被害防止のためのパトロール活動

【団体名】鳥獣被害防止隊

【行政担当課】農林整備課 【補助金額】210,000円

【事業概要】パトロール活動(計7回)を実施したところ、被害要因が特定できたことから、その対策のための調査(計5回)も行いました。シカやイノシシ等による水稲や野菜、農林産物被害を未然に防ぐことにより、農業者の生産意欲低下を防ぎ、鳥獣の住処となりうる耕作放棄地を増やさないことを目的とした事業です。

【行政の役割】団体からの報告をもとに、捕獲活動や侵入防止柵設置等

* 市民協働型まちづくり事業・・・日頃感じている公共的な課題解決のため、市民と行政が協働して行う事業で、3部門に分かれる。該当する事業には補助金を支援する。

①はじめの一步事業・・・これから実質的な活動を始めようとする市民活動団体が行い、活動の継続を前提として計画されている事業。最高5万円の補助。(1年限り)

②市民提案事業・・・市民と行政との連携による住みよい地域社会を実現するために、その団体の専門性及び特性を發揮することができる事業。最高30万円の補助が受けられ、最長で3年間継続できる。

③行政提案事業・・・市が計画している事業をより効果的に実施するために、行政側からアプローチをし、市民と一緒にを行う事業。※予算は平成24年度より原課対応となった。